

## 1 目的と期待される効果

### ➤ 目的

児童育成センターは岡崎市が設置している放課後児童クラブで、市内32学区（49館）で放課後に留守家庭の児童の受け入れを行っています。

令和2年4月から、児童育成センターの運営を、児童への**育成支援の充実**と慢性的な**人材不足の解消**を図るため、民間のノウハウを活かした事業運営（**民間委託**）に転換しました。

### ➤ 期待される効果

- ① 専門業者のノウハウを活かした支援プログラムと職員研修の充実により、**育成支援の充実・質の向上**を図ります。
- ② 専門業者のネットワークを活かした**人材確保**と**現在の職員を優先雇用（転籍）**することで、**安定的な運営**を図ります。
- ③ タブレット端末を活用した保護者への入室メール・緊急メールの配信など、児童の安全管理の充実を図ります。

### 2 委託の概要

- ① 令和2年度から、学校施設（教室）を活用している広幡、大樹寺を除く**46箇所（58支援）**の業務を**株式会社トライグループ**に委託しました。学校教育や学校施設管理への支障等がないことを確認したのち、令和3年度からは、**49箇所（61支援）**全ての施設の業務を委託しました。
- ② 児童育成センターの運営については、民間委託後においても、これまで同様、岡崎市が実施主体です。

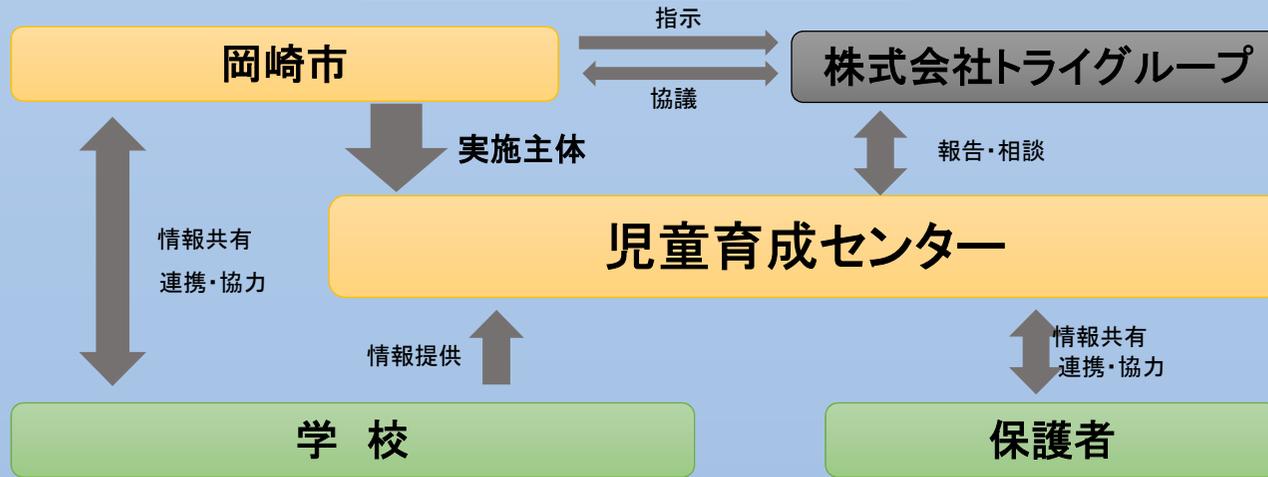
#### 株式会社トライグループ

「家庭教師のトライ」で全国的にも知名度がある教育事業を行っている会社ですが、全国で200以上の自治体と連携し、放課後学習や学童保育の支援など学習支援、居場所事業等を行っており、本市も他課で学習支援業務を委託しています。

- 1 運営実績 豊田市（放課後児童クラブ：29箇所）  
県内外で72箇所（放課後児童クラブ・放課後子ども教室）
- 2 事務局体制 運営業務の実施にあたっては、岡崎市内に事務局を設置し、業務の専従職員を3人配置しています。

# 議題 1 児童育成センター運営業務の民間委託の経過報告について

## 3 運営業務のフロー



## 4 業務内容

項目(内容)	市	学校	受注者
1 実施主体(現行と同様に岡崎市が実施主体であることに変更はありません)	●		
2 運営に関すること(児童への育成支援、保護者対応、安全管理、衛生管理等)	協力		●
3 学校との連絡調整(学校行事等に対応した開所)	協力	協力	●
4 支援員等に関すること(支援員等の募集、採用、労務管理、研修(受注者主催))	協力		●
5 児童の利用に関すること(利用申込に係る審査・許可・通知、育成料の徴収等)	●		協力
6 施設に関すること(施設・設備等の維持管理)	●		協力

### 5 ここまでの評価

#### ➤ 総評

- \* 委託初年度の令和2年度当初から、新型コロナウイルス感染症に対応した開所となりましたが、予測していなかった状況の中、概ねスムーズに体制を移行することができたと考えています。

#### ➤ 理由

- \* 市が雇用していた多くの職員がトライグループに転籍し、引き続き育成支援にあたっています。これにより、子どもたちに不安を与えることなく、また、各小学校との関係性を保つことができました。
- \* 専門事業者への委託化より、人材不足を解消でき、多くの人員を配置し、きめ細かい育成支援が行えるようになりました。

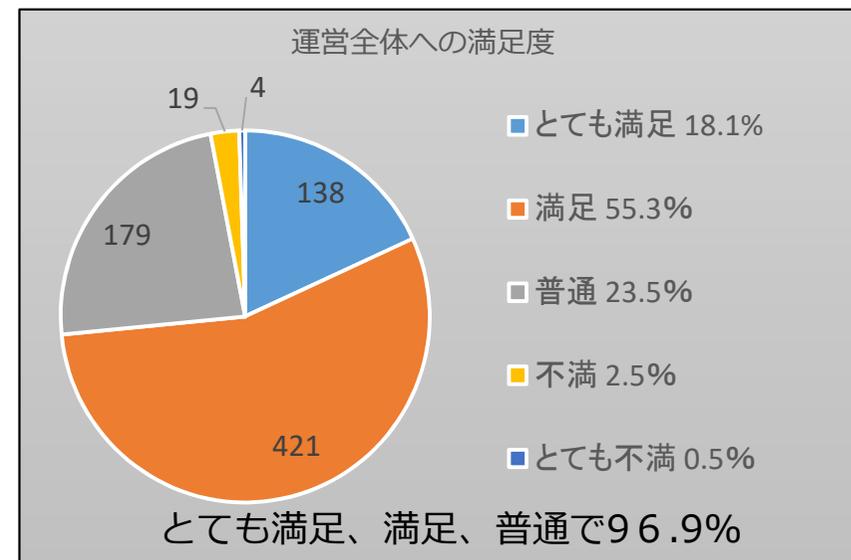
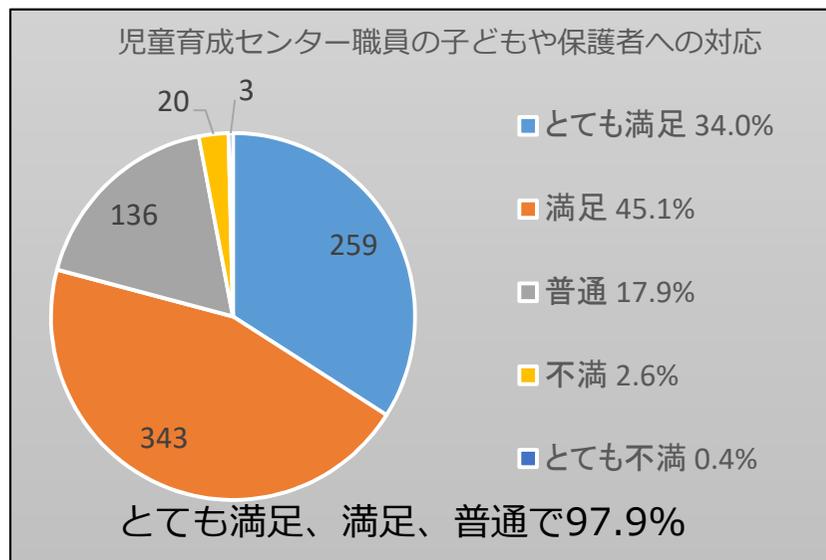
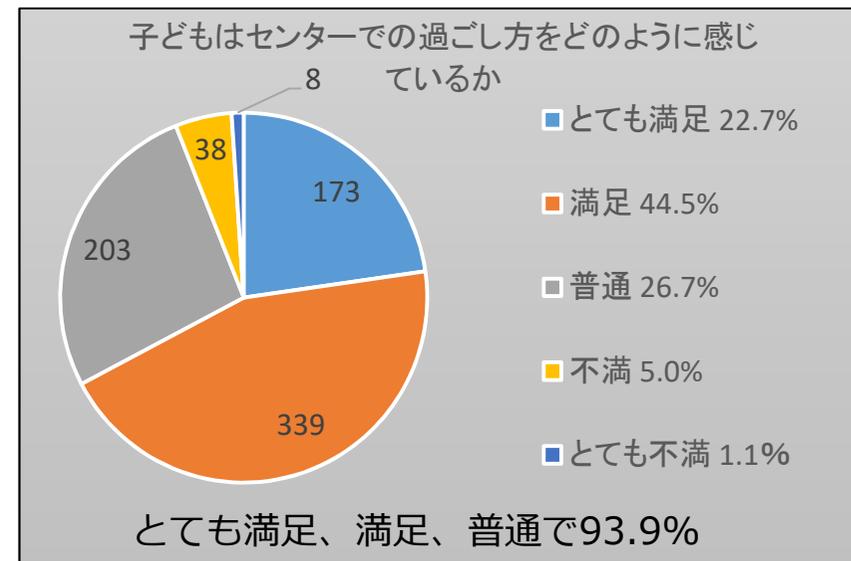
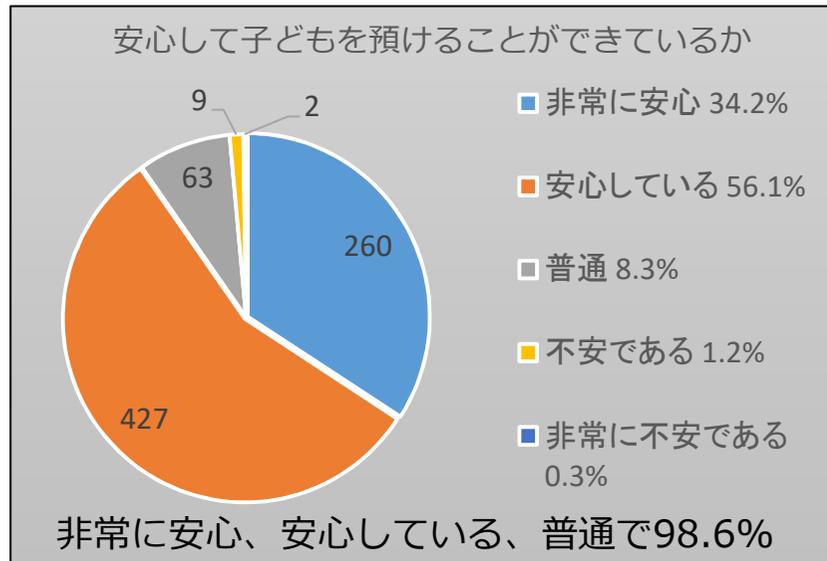
直営：1支援 原則 2名配置 ⇒ 委託：1支援 原則 3名を配置

- \* 事業者による研修プログラムは、当初は新型コロナウイルス感染症への配慮から、全体研修は行えず、少人数の研修のみの実施でしたが、現在は、オンラインに切り替え、実施できています。

# 議題 1 児童育成センター運営業務の民間委託の経過報告について

## 【参考】利用者アンケートの結果より（保護者）

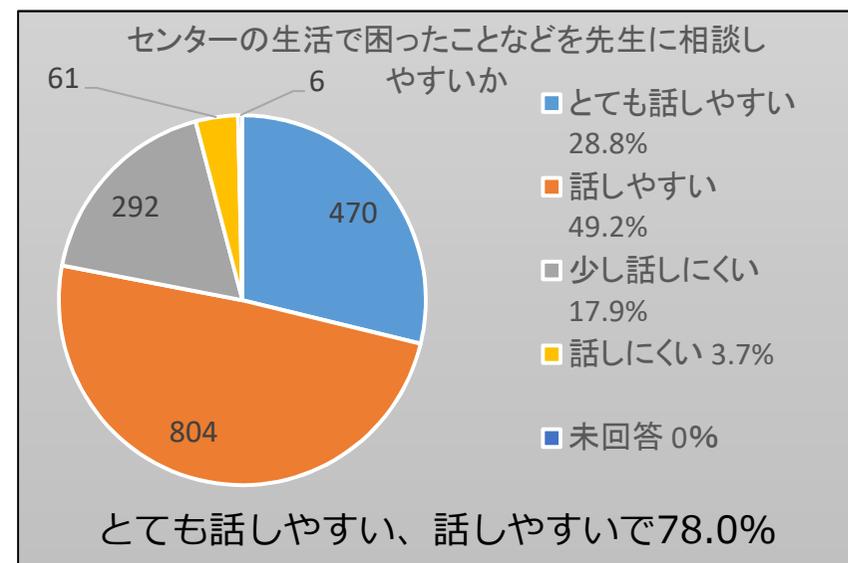
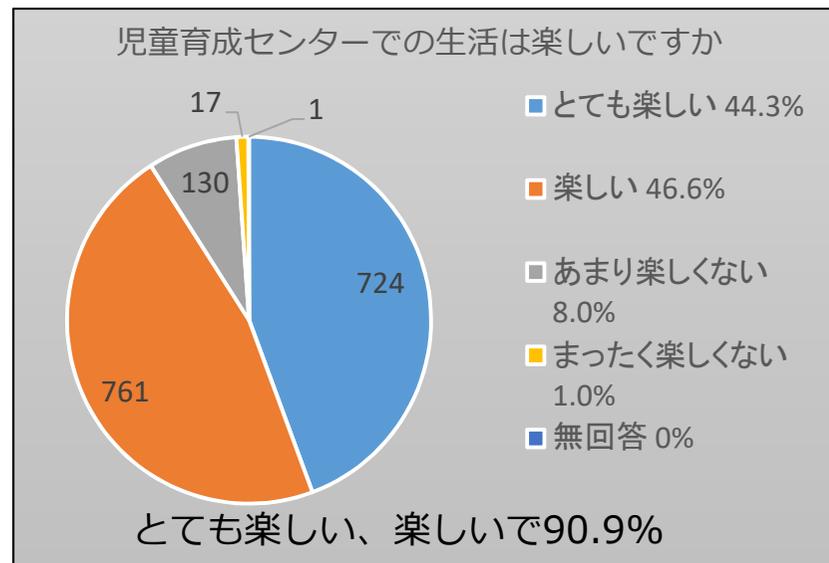
2021.7月実施 回答者761名/利用者2,431名（回答率31.3%）



## 議題 1 児童育成センター運営業務の民間委託の経過報告について

### 【参考】利用者アンケートの結果より（利用児童）

2021.7月実施 回答者1,633名/利用者2,431名（回答率67.2%）



## 1 概要

- ＊ 児童育成センターは保護者の就労などにより、留守家庭児童が利用する施設であることから、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、開所をしてきました。
- ＊ 通常、平日の開所時間は13：30～19：00ですが、小学校が臨時休業となった令和2年3月2日以降、5月7日までの間は、密を避けるため、家で過ごすことが可能な場合には利用の自粛もお願いしながら、児童に居場所を提供できるよう、朝からの開所としました。
- ＊ 特に感染が拡大が懸念された令和2年4月～5月、令和3年8月末～9月については、密を避けるための対策として、利用を自粛してもらいやすくするため、欠席した日について、育成料をいただかないこととしました。

## 議題2 新型コロナウイルスの影響による放課後児童クラブ等（児童育成センター）の現状について

### 2 児童育成センターでの感染対策

限られた活動場所、空間の中で「3つの密」を全て避けることが非常に難しい状況ですが、次のような対策を取ってきました。

#### \* 全般

- ①こまめな換気、消毒、手洗いの徹底、マスクの着用
- ②遊び場であるこどもの家の分散利用
- ③令和2年度は国、県からの全額補助を活用し、新型コロナウイルス対策に使用しました。（空気清浄機、壁掛扇風機、エアコン用除菌・消臭フィルター、オゾン発生器、消毒液、ハンドソープ等）

#### \* 昼食、おやつ

- ①黙食を指導 ②対面にならない席配置 ③学区こどもの家を利用した分散昼食
- ④可能であれば、市民ホーム等を活用を一時的に借用
- ⑤小学校休校期間、分散登校期間等の自主登校教室での昼食

### 3 まとめ

\* 今のところ、職員による取り組みや、保護者・児童の協力もあり、育成センターでの感染拡大が疑われる事例は、発生していません。

\* 今後も、基本的な感染対策に努め、児童の安全な居場所となるよう努めていきたいと考えております。

#### 1 放課後児童クラブの待機児童について

- \* 令和3年度に児童育成センターの利用（預かり）を希望したが、施設の定員から、入所できていない児童は、325人（5月1日現在）です。
- \* 入所できなかった児童は、カバン下校により、学区こどもの家で行われている「放課後子ども教室」を下校時から利用することが多い（見守り、無料）。
  - カバン下校：247人
  - 内訳：4～6年生：124人
  - 1～3年生：123人
- \* 学年が上がるほど、学区こどもの家での無料の見守りで良いと考えている家庭が多いことが推測されます。
- \* そこで、岡崎市では、1～3年生のカバン下校児童数を放課後児童クラブを必要としている人数の目安ととらえています。

なお、民間児童クラブについては、定員の問題から入所できない事例はないと伺っています。

# 議題3 放課後児童クラブの待機児童と新設計画について

## 2 令和2年度の整備実績 第2城南児童育成センター(新設)

### 【学区概要】

既設児童育成センター：1館（こどもの家敷地内）

- (1) 定員50名（暫定的に65名受入）  
⇒ 第2完成後は50名に変更
- (2) 利用児童数

年度	H30	R1	R2	R3
児童育成センター定員	50	65	65	50
第2センター定員			整備	50
利用児童数(第1+第2)	50	65	65	70

### 【工事概要】

- (1) 設置場所  
城南小学校敷空き教室（約64.80㎡）
- (2) 改修工事：エアコン、トイレ・手洗い、室内扉、庇の設置、照明改修インターフォン、門扉（専用出入口）の設置
- (3) 開所時期 令和3年4月



# 議題3 放課後児童クラブの待機児童と新設計画について

## 2 令和2年度の整備実績

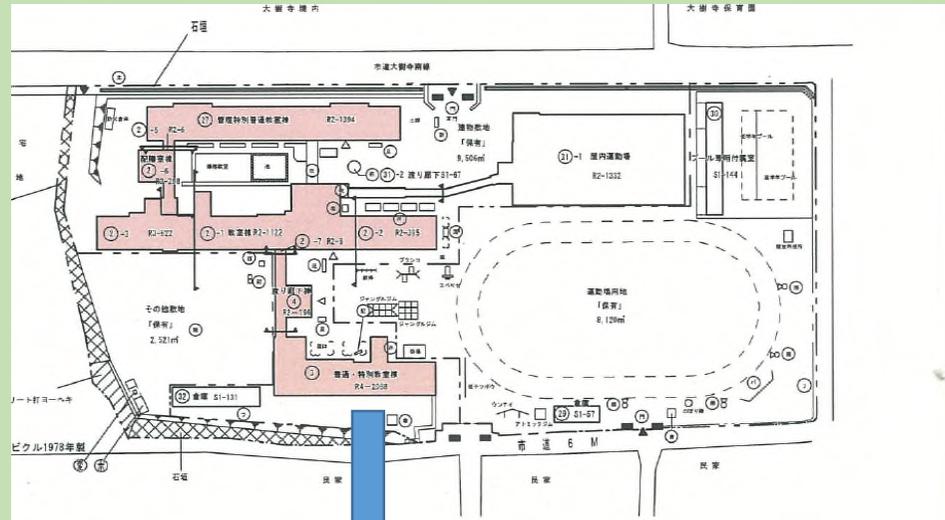
### 大樹寺児童育成センター(拡張)

#### 【学区概要】

既設児童育成センター：1館（小学校校舎内）

- (1) 定員50名 ⇒ 拡張後は80名に変更
- (2) 利用児童数

年度	H30	R1	R2	R3
児童育成センター定員	50	50	50 拡張 工事	80
利用児童数(5月1日現在)	50	50	50	73



#### 【工事概要】

- (1) 設置場所  
大樹寺小学校内既設センターの隣の特別教室  
(学校が使用しない時間にサテライト的活用)  
(改修前85.50㎡⇒改修後150.30㎡)
- (2) 改修工事：空調機設置、照明工事
- (3) 開所時期（拡張後）令和3年4月

## 議題3 放課後児童クラブの待機児童と新設計画について

### 2 令和2年度の整備実績

#### 市営五本松住宅 放課後児童クラブ(小豆坂学区)(新設)

##### 【整備概要】

市営五本松住宅の建替整備で、集会所に併設して放課後児童クラブを整備

運営する民間事業者を公募し、選定の結果、令和3年度より、NPO法人岡崎がくどうの会が運営しています。

- (1) 定員：50名
- (2) 新築工事：木造平屋建  
(クラブ面積：約113.86㎡)  
育成室、トイレ、事務室、倉庫等を整備
- (3) 開所時期 令和3年5月  
NPO法人岡崎がくどうの会が運営する「たけのこクラブ」が羽根学区より移転



# 議題3 放課後児童クラブの待機児童と新設計画について

## 3 令和3年度の新設計画

### 第2六ツ美南部児童育成センター

#### 【学区概要】

既設児童育成センター：1館（こどもの家敷地内）

- (1) 定員50名（暫定的に65名受入）  
⇒ 第2完成後は50名とする予定
- (2) 待機状況等

年度	H30	R1	R2	R3	R4
児童育成センター定員	65	65	65	65	50
第2センター定員				整備	50
待機児童数(5月1日現在)	33	16	11	20	

#### 【工事概要】

- (1) 設置場所  
六ツ美南部小学校敷地内の会議室の東半分（約76㎡）
- (2) プレハブ会議室を改修
  - ①設備（空調機設置、便所設置、照明取替、床張り替え、インターフォン、換気扇、壁付扇風機）
  - ②外構（専用出入口設置、フェンス・スロープ設置）
- (3) 工期 令和3年11月から令和4年2月
- (4) 開所時期 令和4年4月を予定



### 3 令和4年度以降の整備計画

- 児童数の見込みに対して、放課後の受け皿が不足する学区について、民間事業者の参入を促進します。
- 小学校施設の児童育成センターとしての活用を検討するほか、市営住宅建替整備に合わせ、敷地内に放課後児童クラブ室を併設して整備を進めます。
- 現在計画中ですが、現状も待機児童が多く、紡績工場跡地の宅地分譲が行われ、今後も児童数の増加が見込まれる、緑丘学区で令和4年度以降に次の計画があります。
  - \* 増築が計画されてる緑丘小学校の特別教室棟に児童育成センター専用室の設置
  - \* 市営住宅平地荘の建替整備で、敷地内に放課後児童クラブ室の整備